



**感涙するスター社員研修や大笑いの余興研修など
5年で年商6億の式場マネジャーに育てる76の独自研修を元に
人材教育コンサル業の受託開始、大学での講義も開講**

ウェディングプロデュース・レストラン運営の㈱ノバレーゼ（本社:東京都中央区、浅田剛治社長、東証一部、資本金：6億円）は、自社開発した研修プログラムを元に、人材教育のコンサルティング業務の受託を開始します。

当社は社員研修を「求める人物像に近づける」ための重要事項と捉え、新人から幹部層、役員までを5階層に分け、83の階層別・課題別・職種別研修を行っています。そのうち役員研修を除く76のプログラムは自社で開発しており、当社教育研修部の社員が年間約110日間登壇し行っています。

23泊24日で行う新人研修の中には、社員が感動で涙する“スター社員研修”や周囲を盛り上げる工夫を促す“余興研修”など、ユニークなプログラムを取り入れています。

入社3年でマネジャー職、5年で店舗のジェネラルマネジャー職（支配人職）を担える人材教育を行っており、実際に5年目の社員が年商約6億円の式場マネジャーとして活躍しています。

この度、充実した研修プログラムが評価され、神戸国際大学^{※1}からブライダル実践論の開講依頼を受けました。教育研修部長や現場スタッフが、2011年9月の後期から全15回の講義を行います。 ※1 神戸国際大学 経済学部 都市環境・観光学科 ホテル・ブライダルコース内の講義

今後も社員教育に悩む企業様の依頼に応じ、研修プログラムの構築から実際の講義まで76の自社プログラムを元にした人材教育のコンサルティング業務を受託します。

		新人・若手 1～2年目	中堅 3～4年目	リーダー 4～5年目	管理者 5年目以上	役員 ^{※2} —
階層別研修数		8	3	6	5	7
課題別研修数	対人・メンタル	1	4	4	2	-
	業務・知識	8	11	7	9	-
職種別研修数		5	3	-	-	-

↓
神戸国際大学で全15回に分け講座を開講

※2 役員研修のみ外部委託

ノバレーゼのユニークな研修プログラム

【スター社員研修】

新卒社員のモチベーション向上を目的に、マネジャーや料理長が入社動機や経歴、業務の魅力、今後の抱負を話す、ロールモデルを知る場として実施。

【余興研修】

エンターテイナーとして“周囲を楽しませる”をテーマに、新卒社員全員でテーマを決め当全社員の前で余興を行う研修。



神戸国際大学のブライダル実践論に関して

2011年9月の後期から神戸国際大学 経済学部 都市環境・観光学科 ホテル・ブライダルコース内で、全15回の講義を行います。講師は当社の教育研修部長・永江愛香ほか、当社代表取締役社長 浅田剛治やブライダルプランナーも務めます。内容は、模擬結婚式も行うなど実践的な講義にします。

■授業の概要

- ・ホテルなどを中心としたホスピタリティ産業において、機能やノウハウなどを総合的にお客様に提供することにより、高い評価を得て高収益を実現しているブライダル事業について、その歴史や発展を続ける現状を講義する
- ・将来のサービス産業を支える可能性ある若者達に、サービス産業に従事して社会貢献する事の意義や感動を伝える

第1回	結婚と業界の歴史
日本の結婚式・披露宴がどのような変化を遂げて現在の形になったのかを知り、本講座で学ぶ事の全容を理解する	
第2回	顧客の趣向の移り変わりと業界の変化
様変わりした顧客のニーズと、業界の仕組みについて理解する	
第3回	ブライダルの各部門とその連携について
関係部門の業務とそこのかかわりについて理解する	
第4回	映像で見る結婚式
当日の映像、プランナーを追った映像などを通して結婚式や働く人のイメージを固める	
第5回	ウェディングプランナー
プランナーの仕事の苦勞とやりがいを理解する	
第6回	コスチュームアドバイザー
コスチュームアドバイザーの仕事の苦勞とやりがいを理解する	
第7回	結婚式の料理
シェフやパティシエの仕事の苦勞とやりがいを理解する	
第8回	ブライダルスケジュール
結婚式当日までの打合せ時期とその内容を理解する	
第9回	附帯ビジネス
ギフト・映像・フラワー・演出など、結婚式に必要とされる附帯ビジネスの現状を理解する	
第10回	当日のタイムテーブル
当日のスタンダードなタイムテーブルを理解し、結婚式のタイムテーブルを作成する	
第11回	ブライダルミュージック
日常と非日常を演出する上で音楽が重要な要素であることを理解し、披露宴のBGMを選曲する	
第12回	業界が求める人材の資質と育成
ブライダル業界が求める人材とは何か、業務遂行にあたり必要な能力やその育成プログラムはどのようなものがあるのか理解する	
第13回	模擬結婚式
大学内のチャペルを使って挙式を体験する	
第14回	今後の業界のあり方について
当社代表取締役社長 浅田剛治から直接話を聞く	
第15回	まとめ
総括	

